

令和2年産米の「生産の目安」

鶴岡市農業振興協議会(会長・皆川治市長)の臨時総会が3日、グランドエル・サンで開かれ、令和2年産米の「生産の目安」について、配分を決めました。県段階の目安は、県

産米の全国の需要実績に占めるシェア4・73%と、ブランド力向上によるつや姫、雪若丸、はえぬき等の需要増加分6000ト程度を加算して算出されました。市の「生産の目安」

は前年比5ト減、面積換算3ト減で、平均作付率は△0・1%減の60・7%です。産地交付金等の見直しでは、重点品目の枝豆やニラ、アスパラガス、ねぎ、トマト、

水稲作付率の調整状況

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	増減
鶴岡	65.5	65.2	65.6	62.9	60.0	58.4	58.3	58.2	60.6	60.4	▲0.2
藤島	68.6	67.9	67.8	64.3	61.3	58.3	58.3	58.3	62.2	62.1	▲0.1
羽黒	64.4	64.5	65.0	62.3	60.2	58.0	57.8	57.7	60.5	60.3	▲0.2
櫛引	63.5	63.8	64.4	62.0	59.8	57.7	57.5	57.6	60.8	60.7	▲0.1
朝日	64.1	64.0	64.6	62.0	59.5	57.7	58.2	58.1	60.1	59.9	▲0.2
温海	55.4	57.1	59.1	58.3	57.3	56.7	56.6	56.7	58.4	58.4	0.0
全市	65.3	65.1	65.5	62.8	60.2	58.1	58.1	58.1	60.8	60.7	▲0.1

※本表は、均等配分に係る作付率に傾斜配分を加味した作付率である。

前年産の目安		
③	④=③/②	⑤=④/①
21,629	3,629	60.6
12,733	2,119	62.2
9,426	1,660	60.5
6,316	1,082	60.8
2,964	540	60.1
1,879	370	58.4
54,947	9,398	60.8

令和2年産米に係る地域別生産の目安及び作付率(案)

	台帳面積 (ha)	配分基 準単収 (kg/10 a)	生産の目安(トン)								
			(均等分)		(傾斜分)		(均等分)		(傾斜分)		
			面積換算 (ha)	作付率 (%)	面積換算 (ha)	作付率 (%)	面積換算 (ha)	作付率 (%)	面積換算 (ha)	作付率 (%)	
①	②	③	④=③/②	⑤=④/①	⑥	⑦=⑥/②	⑧=⑦/①	⑨=③-⑥	⑩=⑨/②	⑪=⑩/①	
鶴岡	5,987	596	21,569	3,619	60.4	20,091	3,371	56.3	1,478	248	4.1
藤島	3,423	600	12,760	2,128	62.1	11,557	1,927	56.3	1,203	201	5.9
羽黒	2,744	568	9,419	1,657	60.3	8,780	1,545	56.3	639	112	4.1
櫛引	1,780	584	6,323	1,082	60.7	5,857	1,002	56.3	466	80	4.5
朝日	899	552	2,973	539	59.9	2,792	506	56.3	181	33	3.7
温海	634	512	1,899	371	58.4	1,829	357	56.3	70	14	2.2
合計等	15,467	585	54,942	9,395	60.7	50,905	8,708	56.3	4,037	687	4.4

※1. 端数処理の関係で合計が合わない場合があります。
※2. 台帳面積からは山形県における学校田等の面積を除外しています。

遺懐 其の一
八年宰相誉誰論
我嘆悽悽慷慨繁
點慧官権多錯迂
台司袖手憫民昏

今年で総理になって八年になるが、良い評判について誰か論じてくれないだろうか。
私は今の社会の不正や矛盾(桜を見る会やカジノを含むIR事業)の余りにも多いことについて、悲しく思い、深くため息をつくばかりで、良い評判なんてとんでもないことだ。
ずるがしこい権力(他人を無理に随わせる政府の力)は思い通りにならないものだ。
総理大臣は、此れと言って特別何もせず、国民を心配する国政には知能の働きが鈍く、全く愚かなことだ。
(総理は新年の互礼会において話したことは、来年で九年になるので昔の諺を引用して桃栗三年柿八年柚は九年の花盛りと言ったと聞く。そこで敢て言わせてもらおう。桃栗三年柿八年安倍の散木(役に立てない木)実がならず。と)

懐いを遺る 其の一
宰相を八年 誉
誰か論ぜん
我は嘆ず悽悽として慷慨 繁しを
點慧の官権 錯迂 多し
台司 袖手にして民を憫うるに昏し

遺懐 胸の思いを発してうさをはらす。宰相 総理大臣。誉 よい評判。論 大勢の中で誰か問いただす。嘆 なげく。悽悽 悲しむ。憤 憤 世の中の不義、不正を見聞きして絶対に許せないと怒ること。繁 多い。盛ん。點慧 わかるがしこい。官権 治める者が治められる者に服従を強いる力。錯迂 ちぐはぐなこと。台司 宰相。総理大臣。袖手 手を袖に入れておくこと。転じて何もしないこと。憫 心配する。民 国民。昏 はつきりしない。おろか。

きゅうり等の単価を15%増、赤カブや花卉など重点品目の単価を10%増としました。
加工用米については品種による助成が廃止され、ケイ酸肥料散布などの生産性向上の取り組み支援が新設されました。
畑地化助成を廃止し、新たに「水田農業高収益化推進助成」が新設され、高収益作物の畑地化に、初年度のみ10万10万5千円などがあります。

城貞(藤の花)



田中旨男『101歳現役医師の死なない生活』(幻冬舎、1430円)

『101歳現役医師の死なない生活』

著者は100歳を超えて、現役の内科医として働いています。

しかも、あと10年は患者さんのために仕事を続けたいと述べています。

「死なない生活」というタイトルがなんとも凄い本ですが、著者による健康法45カ条はヒントに満ちあふれ、誰でも気軽にできる方法です。

著者は32歳で肺結核89歳で末期がんにかかりますが、完治して今に至っているそうです。

そうした大病に誠実に向き合うことで健康の大切さに気づかされると述懐しています。

規則正しい生活こそ元気のキモ

田中さんが第一に強調するのが「規則正しい生活」です。

毎朝6時半に起床し、ベッドの上で10分間体操をする。7時から朝食をとり、8時すぎに仕事場に向かう。9時半で午前の診察を終える。

2年前までは午後の診察も行っていたが、

毎日、このような生活を繰り返している。「毎日決まった時間に床に入り、決まった時間に起きることで、交感神経と副交感神経の切り替えがスムーズになる。」

日中活発になる交感神経と、睡眠中に活動する副交感神経の切り換えが、滑らかにいかないと自律神経が乱れ、体調を崩し、病気を誘発する原因になる、ということ。

野菜、発酵食品、オリーブオイルなどの「食の基本」、心がわくわくする「気の持ち方」など、どれもなるほどと思わせるヒントにあふれています。

田中旨男『101歳現役医師の死なない生活』(幻冬舎1430円)

世界の国々

フランス(続)

ルーブル美術館もスト

青山崇

主労働同盟も運動に加わることになった。

今度は世界一美術館のルーブル美術館の館員が、「マクロン(大統領)は退任しろ」「退職まで抗議を続ける」などのプラカードや横断幕を掲げ、入口を封鎖しストをした。

ルーブルは地名で城塞や宮殿があった。

ルイ14世もこの宮殿にいて、ここからベルサイユ宮殿に移ったのである。

有名なダ・ビンチ作『モナ・リザ』や古代



『民報』1月19日号

でオペラ座バレリーナたちも年金改悪反対デモに参加したことを報告した。

運動は年を越しさらに広まっている。

労働総同盟と比べ政労使協調路線を取る民



ギリシャの『ミロのヴィーナス』など、古代から近代までの優れた作品がひしめいて展示されている。



当然世界中から観賞者が集まる。その人たちからは「せつかく来たのに」という不満の声も聞かれるが、館員たちは「鑑賞者もわれわれと共にいる」と意気軒高たという。



予算委員会では

予算委員会が開かれた。桜を見る会やカジノ汚職などで何が明らかになるか、期待し注目していた人は多いでしょう。しかし、まるつきり本気度が感じられないんだ。なんとか時間を潰して早く終わらせたいとの姿にしか見えないものだった。

▲これを視ることは、精神衛生上全くよろしくない。こんなやり取りが最高の決議機関かと、日本の将来に希望が感じられない内容と進行だったぜ。

▲衆議院の棚橋委員長は運営がなっていないのだ。桜を見る会に質問が集中するも、首相への付度が見え見えだ。大臣になりたいからなんだろ・ナンテある新聞にあったが。参議院の委員長と比べれば、なるほどと思えるお粗末さに腹が立つ。

▲委員長の偉すぎる態度は良としても、それが真相解明の力になっていない運。質問者が聞いていない別人を指名することを繰り返す。呼ばれた者は委員長の指名だからと時間を潰す。首相は、小さな声のヤジを委員長に辞めさせるように指示し、一回喋った答弁を長々と繰り返す。しかもこれがまともでない、はぐらかしなんだぜ。

▲これに加えて、官僚と呼ばれる事務屋の者達も、首相を庇う事が先に立った答弁ばかりで、一向に真相解明には繋がらない応えだ。▲これが、質問事項を通告しての答弁。すれ違いの連続に、今の答弁・委員長は質問に答えていると思っただか、質問者に注意される始末。国民の疑念にこたえるには程遠い内容だ。首相が「募る」と「募集」の違いを解説する一幕も。(石川)